



1 フランスで学んだ自然療法知識から、植物が持つ肌と心への効果を理解し、国内外からセレクトしたコスメを肌タイプに合わせてオーダーメイド。ムーンビーチやSodashi、ヴィネシムなどのブランドをランナップ。2 原宿にあるプライベートデイスパは、オリジナリティあふれるジャゴニスム空間で落ち着けます

フランス国家資格エステシヤンのエリーのりこさん。1977年生まれ。23歳で渡仏し、フランスNo.1スパ、サンクモンドで経験を積んで、自然療法を学びました。帰国後はケランやナチュラルブランドで技術を磨き、2017年プライベートデイスパをオープン



elioZen(エリオゼン)

DATA

東京都渋谷区神宮前2-31-21-305 ☎070-6464-5008

<https://eliozen.com/>

「The 光明フェイスデザイン」(60分)¥11,500

クレンジングから始まり、右のオリジナルのThe 光明フェイスデザインで顔の細部まで整え、肌に合わせてスキンケアをして、最後にパーソナルカラーのファンデーションで仕上げます

155の神業テクニックで顔をデザインング
肌に見れるシミやシワ、これは何が原因? そういった根本的要因からホリスティックに、心理学的見解からアプローチするトリートメントを提供しているプライベートデイスパ「エリオゼン」。実はオーナーのエリーのりこさんは、右ページで紹介した相貌心理学を、佐藤さんから学んだ一人。「シミやシワのエイジングサインは、メンタルや思考、性格のマイナス部分が表面化している」と考え、まずは顔立ちの分析から始めるのが特徴です。どういったストレスやトラウマ、感情が働きかけているのか? カウンセリングではなく、顔立ちと筋肉の歪みから分析し、最適な手技と植物成分をチャイイス。顔をデッサンするように輪郭から整え、肉付きを正しい位置に戻し、パーツを造形するようにデザインしていく様子は、まるでアート。

さらにエリーのりこさんの「つまむ」テクニックは神業としか言いようがありません。日本の伝統的な手技をベースに15の手技をパーツと悩み肌を合わせて組み合わせているのだとか。肌を細かく繊細につまむ様子は高速すぎて、撮影のときにシャッターを切れないほど。ちなみに私のように頬がそで貧相にならずにつまむには、つまんでいくタイプの人には1ミリ単位で細かく切り込んでそで落とす手技を。手技×コスメ×ホリスティックのアプローチで、仕上がりが立体感もリフトアップも、左右対称も、血色のよさも実現。普段の表情のクセも指摘され、筋肉の使い方も学びました。

1

歪みを見て輪郭を整えます

顔の全体像をつくる輪郭、スマホやPCの影響でカチコチになった筋肉や骨格の歪みを正すため、まず全身のバランスを、そして輪郭を整えていきます

2

巡りの扉を開き顔の下部を整えます

顔の下半分からトリートメントしていくことで、巡りスイッチをオン。パーツは日々の疲労や感情が出やすいところ。つまんで筋肉や肌をほぐしていきます

3

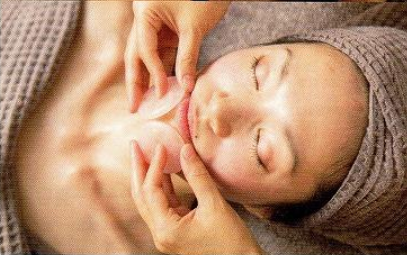
額、顔側面の顔の上部を整えます

おでこにシワが多い人は思考を巡らす仕事に就く人が多く、側頭部もパンパン。指先で肌を弾くようにつまみ、筋肉の力をほぐし肌に柔軟性をもたせます

4

水や気を通して肌を鎮静します

つまんで溜した肌は、チークを塗ったように血色がよくほかに。ひんやりとしたピンクローズクオーツで鎮静化して、引き締まった肌に仕上げます



骨は、閉経前に老化が始まる! 40代から歯周病に要注意

美&元気をあきらめない! **MyAge** マイエイジ

2018 秋冬号 Vol.16

OurAge アウェイ

カバーモデルの黒田知永子

カサカサ、かゆかゆ、つっぱり... 体も顔も。乾きは老け見えを招く!

乾燥老化

美髪セミロング提案 呼吸のしずぎは心身トラブルのもと 便秘がちになる理由

03 salon

肌や見た目の悩みは「行動と思考」が影響するから
「自分の顔を知る」相貌心理学サロンへ



体験しました
鵜飼香子さん
Kyoko Ukai

1976年生まれ。美容ジャーナリスト。美容誌「MAQUIA」の編集者を経て独立。20代は国内外でまつ毛が抜けたり顔の皮膚がむけたりするほどの体当たり取材を、30代は週3でエステに通い、40代の現在も毎月200もの新製品を試している経験から、美容記事を執筆したりアドバイスをしている。2児の母